

都市再生整備計画 フォローアップ報告書

駿府ふれあい地区(第3期)

令和7年3月
静岡市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4ー① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指 標		単位	従前値	目標値	事後評価						フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別		目標達成度	1年以内の達成見込み					理由	改善策の方向性	
指標1	歴史・文化などの地域資源が活かされていると思う割合	%	32.2	50.9	38.9	確定		△	あり		49.7	R6年8月	△	事後評価から10.8ポイント増加したが、目標値には未達である。	■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	1.2ポイント届かないが目標値に近づいており、改善策の継続実施により目標達成が見込まれる。
						見込み	●		なし	●						
指標2	中心市街地はにぎわいや魅力が増したと感じる市民の割合	%	58.4	66.8	33.0	確定	●	×	あり		46.0	R6年8月	×	事後評価から13ポイント増加したが、目標値には未達である。	□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 ■ 新たに改善策をたてる	改善策実施による一定の効果は認められるものの目標値には大きく届かないため、第4期事業を踏まえた新たなまちづくり方策の検討が必要である。
						見込み			なし	●						
指標3	歩行者通行量	人	6,445	7,236	5,680	確定	●	×	あり		5,558	R5年11月	×	目標値には未達であり、事後評価からも減少した。	□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 ■ 新たに改善策をたてる	目標値に大きく届かず、第4期事業を踏まえた新たなまちづくり方策の検討が必要である。
						見込み			なし	●						
指標4						確定			あり			R 年 月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	
						見込み			なし							
指標5						確定			あり			R 年 月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	
						見込み			なし							

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4ー② その他の数値指標の確定

指 標		単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別		達成度	1年以内の達成見込み			理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1						確定				R 年 月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	
						見込み								
その他の数値指標2						確定				R 年 月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	
						見込み								
その他の数値指標3						確定				R 年 月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	
						見込み								

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4ー③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5ー③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	歴史的な名所の核づくり	・葵舟の運行回数:1,685回(R4)、1,608回(R5) ・お堀の水辺空間活用に関するワークショップやシンポジウム、中堀の水辺空間を活用した灯りの社会実験を実施した(R4～R5)。	・葵舟の利用者数:8,203人(R4)、9,296人(R5) ・ワークショップ参加者:74人 ・シンポジウム参加者:31人 ・実証実験参加者:26人	・葵舟の運行、魅力あるイベント、SNS等を活用した幅広い層に向けた広報活動を引き続き実施し、「歴史的な名所の核」としての認知度を向上させることが必要である。
	誰もが安心してアクセスし回遊できる道路交通環境の充実	・道路改良について、都市再生整備計画事業の活用を想定し、庁内関係各課による具体化検討を進めた。	・都市再生整備計画事業(第4期)において、道路改良(横断歩道設置、歩道拡幅、交差点改良)に関する事業を実施中である。	・道路改良(横断歩道設置、歩道拡幅、交差点改良)により安全性や回遊性を向上させ、道路交通環境をさらに充実させる必要がある。
	静岡都心エリアに相応しい賑わいの創出	・R4からR5にかけてJR静岡駅北口地下広場空間活用検討事業として、お茶とお茶のおどもの販売、各種イベント(茶詰めの儀、神楽上演会、出張博物館など)を行った。	・「お茶」や「歴史」をテーマとしたイベントの実施などにより、JR静岡駅北口地下広場において賑わいが創出された。	・魅力あるイベント、SNS等を活用した幅広い層に向けた広報活動を引き続き実施し、静岡都心エリアに相応しい賑わいの創出を推進する必要がある。
	まちなかの更なる魅力向上	・まちづくりに関する市民参画のワークショップを計30回開催し、207人が参加した(R3～R5)。	・各エリアにおける現状の課題や将来のまちづくりに関する意見交換が行われ、市民参画したまちづくりの意識向上が図られた。	・引き続き、ワークショップ等の実施によりまちづくりへの市民参画を促進し、まちなかの魅力向上に資することが必要である。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	歴史文化施設の整備推進	・静岡市歴史博物館を令和4年7月プレオープン、令和5年1月にグランドオープンした。 ・基本展示として、徳川家康を中心に駿府から現在の静岡に至る発展の歩みを紹介するほか、完成の遅れの原因となった遺跡を館内に露出展示することにより質の向上を図った。 ・企画展示は開館記念企画展「徳川家康と駿府」をはじめ、計5回実施した。	・入館者数:165,103人(R4)、284,115人(R5) ・企画展観覧者数:20,115人(R4)、32,693人(R5) ・満足度:84.6%(R4)、88.0%(R5)	・来場者アンケート等により市民のニーズを的確に把握の上、ニーズに対応した企画展示やイベントを企画・実施し、満足度をさらに向上させることが必要である。
	歴史資源と文化施設を活かした賑わいの創出	・駿府城跡天守台発掘の啓発活動の一環として、実際に発掘された金箔瓦を3Dスキャンし、チョコレートを流し込むためのシリコン型を小型に復元。天守台の発掘の事を学びながら楽しく参加できるイベントを計4回開催した。 ・駿府城ラン・アンド・フレッシュステーションを設置・運営しているほか、大河ドラマ館と静岡市歴史博物館を結ぶ無料送迎バスの運行を実施した。	・駿府城跡天守台発掘イベントに63人が参加したほか、大河ドラマ館と静岡市歴史博物館の連携による利用者の回遊などにより、駿府城公園を中心に賑わいが創出された。	・引き続き、歴史資源や文化施設を活用したイベント等の実施により、「歴史的な名所の核」を中心としたにぎわいづくりを推進する必要がある。
	ウォーカブルな街並みの形成	・無電柱化について、都市再生整備計画事業の活用を想定し、庁内関係各課による具体化検討を進めた。	・都市再生整備計画事業(第4期)において、(市)御幸町伝馬町線、(市)本通四丁目常磐町二丁目2号線の無電柱化事業を実施中である。	・無電柱化事業により安全性や回遊性を向上させ、誰もが歩きたくなるような街並み環境を形成する必要がある。
	まちなかの交流人口を増やし地域活性化	・人を呼び込む施設や歩道空間への賑わい創出空間の整備について、都市再生整備計画事業の活用を想定し、庁内関係各課による具体化検討を進めた。	・都市再生整備計画事業(第4期)において、官民協働での都市利便増進協定により常設オープンカフェ、花壇プランター、机・椅子を設置しにぎわいが創出された。	・都市利便増進協定等により官民協働でまちなかの交流人口を増やし、さらなる地域活性化に資することが必要である。

事後評価シート 添付様式5ー③から転記

様式4ー④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
歴史資源と文化施設の活用	・静岡市歴史博物館のPR ・駿府城公園の利活用	令和7～8年度	
中心市街地の魅力向上	・市街地再開発事業による都市アセットのリニューアル ・公民連携によるサードプレイスとなる居心地の良い空間の創出	令和7～8年度	
歩行者通行量の増加	・来街機会の創出 ・安全、安心で、かつ周辺のデザインと調和した魅力的な歩行空間の整備	令和7～8年度	